

## 日本発イタリア便り～スローフード?～



フィレンツェの眺め。到着したのは1月3日。前日の嵐のドイツとはうって変わって、4月?というくらい陽気でした。それにしても美しい!ひとつひとつを見るとごちゃごちゃしているけど、「景観」としてみたときのこの美しさ!何で日本ではこんな街づくりができなかったの? ヨーロッパから帰ってくるといつも、大阪の街にがっかりします…。

突然ですが、毎日皆さんは何を食べていますか?

毎日マクドナルド。という人はもう読まなくてもいいです。

この何年か、日本でも浸透してきた「スローフード」運動。このスローフードの本拠地(?)がフィレンツェのあるトスカーナ州になります。

スローフードを簡単に何ぞや?という、ファストフードの世界的拡大による、「食の均一・画一化」から、「食の喜び・楽しみ」を取り戻そう!という運動で、イタリアにマクドナルドが進出し始めた1980年代から始まった運動だそうです。

えらくまじめな話になりましたが…。

フィレンツェの街を歩いていると、マクドナルドなど、どこの街にもあるファストフードのお店を見つけません。(駅などにはあるらしいのですが…)なんでもフィレンツェにマクドナルドが進出の打診をしたとき、時の市長さんは「スパゲッティを売らないのならだめだ」といって譲らなかったとか…。そんなこんなで進出計画が大幅に遅れたそうですよ。この前は、スパゲッティが売ってあるかどうか、確認しに行こうと思いつつ、忘れてました。

で、冒頭の質問、「毎日何を食べてますか？」

イタリア人は毎日イタリア料理です。

ドイツ人だって、毎日基本的にはドイツ料理です。(でもドイツ人はスパゲッティも好きですねー。でも、アルデンデではなく20分くらいゆでたようなスパゲッティをナイフとフォークで食べます…。)

日本人で、毎日3食、和食の人って、どのくらいいるでしょうか??

そういう意味では、日本の食卓って、洋食・中華・イタリア料理…。なんでもありで、国際色豊かだなあ。と思います。

そんな理由で、フィレンツェには、イタリア料理以外のレストランというのは最近になるまでほとんどなかったそうですよ。イタリア人は、食に関しては、非常に保守的なんだそうです。

食をテーマに…。と思ったのですが、なんせ食べ物関係の写真をとってないので、文章だけでなんとかできるのか?とも思いますが…。

私の大好きな場所のひとつ「中央市場」ここに行くと、フィレンツェの人の食生活がわかりますねー。フィレンツェ人はほかのイタリア人からは「豆食い」と呼ばれるくらい、豆をよく食べる、ということで、いろんな種類の豆に、日本ではあまり食べないウサギとか、牛の内臓関係、そういった名物料理がたくさんあるそうです。有名なキャンティ(赤ワイン)や上質のオリーブオイル、これもみんなトスカナの産物! 食べ物はホントに豊かですね。

上に、イタリア人は食に関して保守的、と書きましたが、イタリアは食べ物も地域色が豊かで、やっぱり使う野菜とかでも微妙に違うらしいのです。(京野菜とかそんな感じでしょうか?)で、この中央市場に来れば、限られた地域でしか流通していないような野菜とか食材も手に入るとか。また「刺身にできる魚がある」ということで(フィレンツェは内陸部なので、今でもあまり魚は食べないし、「生」なんて! という地域でもあります。)わざわざ買いに来る在住の日本人の方も多いそうですよ。

フィレンツェの名物料理なんぞを紹介しても、結局は自分で食べていただく以外には、なんとも伝えにくいのですが、新鮮な素材を素朴な方法で調理したものが多いような気がします。庶民的なレストラン(トラットリア)に入ると、机の上には、オリーブオイルが、おいてあります。これを何にでもかけて食べる! パンにつけても良いし、スープに垂らしても、スパゲッティにかけても、サラダにかけても美味しい!(おいしいエキストラヴァージンオイルを使うこと+新しく酸化していないものを使うこと。という条件で、これは家ですぐにできます。騙されたと思って試してみてください! はまります。)時には、ワインのボトルが最初からテーブルにおいてあって、自分で注いで後で、「1杯いくら」なんてお店もあります。

いやいや、美味しいものは、やっぱりドイツ(ドイツだって美味しいものはいっぱいあるけど)はイタリアには勝てません…。全然関係ないですが、「ピザの美味しさは、イタリア人の人口に比例する! 」という法則を発見しました。(法則というほどでもないけど。)イタリアのピザが美味しいのは当たり前、イタリア人がたくさん住んでいるドイツやオーストリアのピザも美味しいです。でも日本は…。ちなみに発音は「ピッツァ」です。

ちなみに、私は最近よく料理するのですが、「昔イタリア人だったに違いない」と思うほど、にんにく・オリーブオイルの使い方が半端ではありません。(それだけで判断するのもどうかと思うけど)イタリアのキノコ、ポルチーニと白トリュフには完全にイカれています。

イタリアに「全食事付き」のツアーで行かれた方から「イタリアってご飯が美味しいと思っていたけど・・・。」という話を聞くことがありますが、ツアーの食事で判断しないでください！（これはドイツも同じ。そのうち、ドイツ・オーストリアの「グルメツアー」なるものを企画してやろうかと思っています。）それって、日本に来てコンビニのお弁当だけ食べて「日本食って大したことないよね」っていうのと大して変わりません。どこの街にも美味しいもの・素晴らしい食文化はたくさんあるんですよ。

言葉の問題を挙げられる方は多いですが、行ってしまえば、心配するほどの問題ではないのです！ツアーに参加するときでも、「半日フリータイム」の日に、「食事つきオプションツアー」を申し込むのではなく、是非、街を自分で歩いて、「お！ここは！」となんとなく「ピン」とくるお店に入ってみてください。適当に「えいや！」で頼むもよし。美味しそうなのを隣の人が食べてたら、そっと「あれと同じもの」と言ってもいいし。手振り身振りでも「対面」であれば思っている以上に伝わるもんです。（ちなみに絶対美味しいものが食べたい+好き嫌いが多き私は、言葉の通じない国に行くときは「食べられない食材」と「食べたいもの」だけは事前に調べてメモして持っています。☺）

そうやって自分で食べた！というのは美味しくてもイマイチでも思い出になりますよー！是非試してみてください！



ある日の前菜のブルスケッタ。カリカリに焼いたパンにたっぷりのトマトを載せて、これまたたっぷりオリーブオイルをかけて、塩を少々……。実にシンプルですが美味しいです。

なんだか収集もオチもつけようがなくなってきたので、この辺でストップします。なんか先日のザッハートルテもそうですが、こうやって書くと、それがむしろに食べたくなるのが困りものです。

次回もイタリア続行？それとも？